

令和5年度 事業計画書



自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

夢を育み、未来を創る街

一般社団法人つくばグローバル・イノベーション推進機構

令和5年度事業計画書 目次

- 1 令和5年度事業計画の基本的な考え方
- 2 事業活動の内容
 - (1) 技術シーズの事業化支援
 - (2) プラットフォーム（共創場）の構築
 - ① つくばにおける技術相談のワンストップ窓口による支援
 - ② つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催
 - ③ 交流の場の提供（スタートアップパークの活用）
 - (3) 特区プロジェクトに対する横断的な支援及びその他の活動
 - ① 特区プロジェクトの推進による産業化支援
 - ② つくばライフサイエンス推進協議会（TLISK）の運営
 - (4) 筑波研究学園都市における国際化の推進
 - (5) 情報発信活動
 - ① 広報媒体の強化
 - ② 筑波研究学園都市科学技術支援セミナーなどの開催
- 3 会員との連携活動の推進
- 4 法人の運営に関する事項

1 令和5年度事業計画の基本的な考え方

令和5年度においても、これまで行ってきた文部科学省の補助事業「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」及び「茨城県次世代技術活用ビジネスイノベーション創出事業（内閣府地方創生推進交付金事業）」並びに「医工連携イノベーション推進事業（AMED）」等での事業成果・ノウハウ等の成果をベースにしながら、つくば地域のイノベーション・エコシステム構築に向けて、つくば発のイノベーション創出が自律的に継続できるシステム・環境づくりを目指すハブ機関として、行政や大学、研究機関、企業、国際機関（HLF:ハイレベルフォーラム）などと連携し、様々な事業活動を通じて社会実装支援を実施します。

2 事業活動の内容

(1) 技術シーズの事業化支援

つくば地域の豊富な技術シーズを事業化へと導き、世界に大きなインパクトを与える成功事例を創出するべく、技術シーズの発掘・育成から出口まで一貫した支援を実施します。事業化の出口としては、企業への技術移転やベンチャー企業の創出・成長（IPO）などを支援します。また、先端的サービスの社会実装及び医療機器の事業化支援をつくばツインスパーク株式会社と連携して行います。支援の一環として、茨城県、つくば市、筑波大学等と連携した人材育成支援や、企業・投資機関等へのアプローチ（売り込み、つくばへの呼び込み）、社会実装支援を実施します。

(2) プラットフォーム（共創場）の構築

① つくばにおける技術相談のワンストップ窓口による支援

筑波研究学園都市の各研究機関とのネットワークを活用したマッチング支援等を通じて、研究者や企業の課題解決を実現する「つくばテクニカルコンシェルジュ（TTC）」活動を推進します。

特に、つくば地域の多様な研究成果を地域社会や産業界へ還元するために、様々な企業の技術的ニーズがTGIに集積し、研究成果との橋渡しを実現する姿を目指し、本取組をつくば地域のみならず全国的にPRしていきます。また、JETROや茨城県グローバル戦略チーム等と連携し、国際的な活動も推進します。

② つくばイノベーション・エコシステム構築に向けた合同連絡会の開催

各機関間の情報共有、イノベーション創出に向けた意見交換、研究情報・産学連携

施策の紹介や知財関連情報共有など、関係機関の協力を仰ぎながら定期的な開催を継続して実施します。

③ 交流の場の提供（スタートアップパークの活用）

スタートアップパークの機能・利便性を活かして、研究者と企業等との打合せや人脈づくり、ビジネスチャンスの出会いの場としての活用を図り、つくばにおける研究者と企業との交流を促進します。

(3) 特区プロジェクトに対する横断的な支援及びその他の活動

① 特区プロジェクトの推進による産業化支援

茨城県、つくば市と連携し、これまでと同様、各プロジェクトの進捗状況を確認しながら、特区支援制度の活用促進や会議の開催・運営、広報などの支援を行います。会議の内容は、各プロジェクトの進捗を定期的に報告するもの他、茨城県・つくば市・TGIの事務担当者が集まり、全体の方向性の確認や、支援制度活用可能性のある案件の共有を目的としたものを実施します。

② つくばライフサイエンス推進協議会（TLSK）の運営

つくばライフサイエンス推進協議会の事務局を行います。TLSKピッチ会と若手交流会を開催します。また、GTB（Greater Tokyo Biocommunity）において、TGIはつくばエリアの窓口機関を担います。

(4) 筑波研究学園都市における国際化の推進

ハイレベルフォーラム2023への参加、つくば地域の研究機関の代表機関として、ハブ機能の役割を果たします。

(5) 情報発信活動

TGIの認知度の向上を図るため、ウェブサイトや各種イベント等を活用し、情報発信及び広報活動を行います。

① 広報媒体の強化

② 筑波研究学園都市科学技術支援セミナーなどの開催 等

3 会員との連携活動の推進

TGI の設立趣旨や事業活動に賛同する会員（企業、研究機関、個人等）との連携活動を推進し、TGI の活動の促進を図ります。また、会員を増加させます。

4 法人の運営に関する事項

TGI の事業全般の企画立案、計画の策定、執行等のため以下の会議等を開催します。

- ・総会（定時総会及び臨時総会）
- ・理事会（通常理事会及び臨時理事会）
- ・経営会議（事前調整及び報告事項）